

市民参加型まちづくり1%システム（令和6年度3次募集） 審査結果 【一般部門】

事業 番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	基準に満たない 審査項目			
1	新規	不登校を支える親の会	不登校の子に関わる保護者、学校関係者、その他へ向けた講演会の開催	不登校の子どもに関わる保護者や学校関係者、地域住民に向けて、不登校経験から活動を続けてきたジャーナリストの講演会を実施する。不登校の子ども達を見守る大人達に不登校のことを良く知ってもらい、自分らしく生きる居場所づくりについて考えるきっかけとしていく。	337,000	80.6	—	○	337,000	
2	新規	かへるべ！津軽	「食べる力をケアで支える」を学びあうフォーラム（たべがくフォーラム）	「食べる力をケアで支える」を学びあうフォーラム（たべがくフォーラム）を実施する。食事摂取機能が衰えたとしても、ケアや工夫によって食べる楽しみを諦めることなく暮らすことができることを、多くの方に伝え、地域で暮らす一人ひとりがセルフケアできるようになり、必要な時に必要な人に相談できるような地域になることを目指す。	355,000	81.4	—	○	367,000 ※	
3	継続	E.らぼ	子どもの教育環境向上プロジェクト	オランダの学校で実際に取り組まれている体育の授業を、子どもだけでなく教育関係者や子育てに悩む保護者、市民全般といった大人たちが体験することで、オランダの教育の理念を体感してもらい、弘前に住む子どもたちが日々楽しみつつ、自己肯定感を高く過ごすことができる環境づくりについて考える機会を創出する。	288,000	65.2	—	○	288,000	
4	継続	歴史と伝説の里「鬼沢の会」	鬼ヶ岡地域「歴史と伝説の里づくり事業」	鬼沢地域の由来・歴史や伝説に関する情報を鬼沢の地域住民に対して紹介する広報誌を作成するとともに、鬼沢の歴史を深掘りする研修会を実施する。地域住民を中心に鬼沢地域の価値を再確認してもらい、地域の史跡や歴史等の地域資源を守り、後世へ伝える人材を育成する。	499,000	76.2	—	○	499,000	
5	新規	創造結社 ばふらっと	戯曲「home」リーディングドラマ上演	今年の4月に公開で読み合わせを行った戯曲「home」をリーディングドラマとして上演する。稽古など、作り上げる過程を市民や学生に公開・共有し、一緒に作品を育てることで、新たな交流の場を創出する。また、りんごを主要テーマとした弘前ならではの戯曲のため、戯曲を通して、農業の抱える問題や農業の未来について考えるきっかけを作る。	500,000	75.2	—	○	500,000	
6	継続	ほほえみネットワーク	手作りケア帽子でゆるくがん患者さんを応援!! もっと知ろう乳がんのことを!!	市民の乳がんに対する理解促進とサポート意識の向上のため、ヒロロや市内大学など様々な場所で患者さんが被るケア帽子作りとケア帽子の普及啓発を行うとともに、看護学科の学生の活動に協力し、乳がん検診の啓発とサポートの輪を広げていく。	45,000	81.4	—	○	45,000	
<b>合計</b>				<b>6事業（新規3事業 継続3事業）</b>	<b>2,024,000</b>	—	採択 6 事業 不採択 0 事業	—	<b>2,036,000</b>	

※スタート部門を活用したことがある場合は、継続事業となります。

※審査会の意見を踏まえ、補助対象経費を追加した結果、補助金額が増額で採択となったもの。

市民参加型まちづくり1%システム（令和6年度3次募集） 審査結果 【スタート部門】

事業番号	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額(円)	採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額(円)	委員からの意見・アドバイス
1	とりの会	ふとうこうの見方が変わるお話し会	不登校児を持つ保護者の気持ちを少しでも軽く明るく元気にするきっかけづくりのため、20年以上の小学校教諭の経験を持つ講師が実体験や不登校児を持つ保護者のエピソードなどを通して不登校の別の見方を発見する内容の講演を行う。	50,000	○	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒロロの交流室Cは本当に小さいので、そこで10名だけに講演会を開催するのはもったいないと思う。講演はもう少し大きい規模（会場・人数）で行い、話し合いは10人だけといった方法もあると思う。</li> <li>・今回参加する10人の方が講演の内容をしっかりと把握して前向きになれるような進行の仕方や話し合いの場をきちんと持っていたらいい。講演を聞いた後でネットワークを作ったり、来年度からはもっと広く行っていただきたいと思う。</li> </ul>
3	すこやかめし	管理栄養士と学ぶ介護食教室	管理栄養士による介護食教室を実施し、栄養面・安全面に考慮した介護食の調理方法やレシピを学ぶ機会を創出する。	10,000	○	10,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の3次募集の一般部門において、要介護者等への食支援に関する申請があったため、今後も活動を続けていくということであれば、それらの団体とコラボしてとんとん繋がってほしいと思う。</li> <li>・とても重要で必要なことであり、悩んでいる方も多くいると思うので、すぐ定員に達すると思う。募集が多かったときに、もう少し拡大するなど工夫してほしい。</li> </ul>
4	岩木 みんなの食堂 ひだまり	岩木 みんなの食堂 ひだまり	地域住民の繋がりを醸成するため、中央公民館岩木館で「岩木 みんなの食堂 ひだまり」を月に1回開催し、子どもを中心としたみんなの居場所づくり、無料の食事提供、学習支援とみまもり活動を行う。	50,000	○	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ボランティアに協力してもらうのであれば、開始時期が1月からでちょうど冬期間に入るので、岩木までの交通手段を確保すると良いと思う。また、冬休み明けの試験があったり、2～3月は長期休みに入るので、事前の十分な調整が必要だと思う。</li> <li>・対象者が岩木地区住民及び弘前市民となっているが、居場所づくりなので、岩木地区住民対象としても良いのではないかと。来年度以降協賛を得たいと考えているのであれば、岩木地区という地域性を出した方が、岩木の企業からの協賛であったり、岩木の農産物の販売所から食材を提供していただくなど、岩木地区の方の協力を得られやすいと思う。</li> <li>・初めてだと行きづらいという方もいるようなので、行きたいと思える要素を取り入れてはどうか。例えば岩木の有名な特産物を取り入れたり、子供向けであればゲーム（レクリエーション）を用意したり、一般の方も一緒にということであれば、制作体験などがあると楽しいと思う。</li> <li>・活動を継続していくために、サポーター制度など、運営資金や材料の提供を得られるような仕組みを考えていただきたい。そのためには、利用者だけでなく、協力してくれる地域の方にも活動をよく知ってもらうことが大事だと思う。</li> </ul>
5	Fighters Crossover 青森	Fighters Crossover 青森 -SP-	対戦型格闘ゲーム「STREET FIGHTER6」を用いたeスポーツ大会を開催。市内eスポーツ部や同好会所属の学生にも企画・運営に携わっていただき、対戦会に慣れている方だけでなく、初心者や興味のある方、観戦・視聴を楽しみたい方も楽しめる空間を作り、eスポーツを多くの方に知ってもらう、体験してもらう機会を作る。	50,000	○	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eスポーツという言葉は聞いたことがあるが、専門の方が集まってやっているというイメージがあり敷居が高い。認知度が高まると、盛り上がると思うので、今回の事業では裾野を広げることにぜひ注力していただきたい。</li> <li>・好きな人だけの集まりだと言われたい、どのようにすれば初心者や興味のある方に伝わるのか、参加しやすいような大会に見えるのかなど、見せ方・伝え方に工夫してほしい。例えば、「初心者歓迎!」「しっかり教えます!」など、コピーをしっかりと書いていただきたい。</li> <li>・自分自身、友達がゲームをしているのを見てきたので、観戦なら行きたいと思った。また、観戦しに来て、やってみたいと思う人が生まれるということもあると思うので、プレイヤーと観戦する人を分けていたのはすごく良いと思った。</li> <li>・観戦のみの人はお金を払わなくても良いと思う。</li> <li>・最近は高齢者にも良いと言われており、競技性だけではなく様々な方に幅が広がる可能性があると思うので、いろいろな方に経験していただきたいし、そういった方々の入り口になるような大会としてほしい。</li> </ul>
6	弘大将棋部	第3回 弘大カップ	将棋を始めたばかりの子どもたちや未経験で将棋に興味のある子どもたちに将棋の楽しさを知ることができる機会を提供するため、将棋を始めて間もない小中高生向けの将棋大会と、将棋に興味がある未経験者の子どもたち向けの将棋教室を開催する。	50,000	○	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知について、ポスターを配るだけでなく初心者や未経験者が参加できるように、参加者を積極的に集める取り組みも行ってほしい。</li> <li>・将棋をしているベテランの方も多いため、子どもたちと高齢者の方が将棋を通じて触れ合う機会が作りやすいと思う。回を重ねるごとに世代間交流も取り入れると地域づくりに近づいていくと思う。</li> <li>・未経験者が500円を払って参加するのかが少し気になったので、未経験者が来やすい仕掛けがあったほうがよいと思う。</li> <li>・大学生が企画する大会なので、景品に大学生ならではの楽しめるものなどもあるとより面白いのではないかとと思う。</li> </ul>
合計			5事業	210,000	採択 5 事業 不採択 0 事業	210,000	